

湖南省高等教育自学考试
课程考试大纲

高级日语（二）
（课程代码：00610）

湖南省教育考试院组编
2016年12月

高等教育自学考试课程考试大纲

课程名称：高级日语（二）

课程代码：00610

第一部分 课程性质与目标

一、课程性质与特点

高级日语（二）是高等教育自学考试日语（本科）专业的专业核心课程。本课程的目的旨在巩固和深化基础阶段所掌握的语法和词汇方面的知识，在提高听、说能力的同时，重点培养考生阅读理解能力和语言表达能力。通过学习具有一定难度的文章，扩大考生的语言知识量，更好地深入了解日本的风土人情和社会文化，学会运用日语的逻辑思维习惯去理解长篇文章，最终能够提高语言综合运用的技能。

二、课程目标与基本要求

本课程的目标和基本要求是：（1）提高阅读理解和词汇运用能力，即能掌握和使用所学词汇。特别是同义词，近义词的区分和使用，正确理解文章的内容和主题思想，抓住文章的要点，分析文章的结构、语言技巧和修辞特点。（2）提高语言表达能力。即能用日语解释，用汉语翻译文章中的难句，使用日语归纳文章的主题思想，并能对文章的内容进行简单地分析、评论。（3）考生应该学会使用辞典和其他工具书独立解决语言和文化，背景知识方面的难点问题。提高考生的自学能力，能够深入地理解语言知识与文化知识的不同特点。

三、与本专业其他课程的关系

高级日语（二）是日语专业一门极为重要的专业核心课程，在日语专业中占有重要的地位。本课程的前修课程是基础日语（一）、基础日语（二）、高级日语（一）。这三门课程所学的基础知识和文化背景内容是理解和掌握高级日语（二）教材内容所必须具备的专业知识。

第二部分 考核内容与考核目标

第一课 「まあまあ」にみる日本人の心

一、学习目的与要求

通过本课的学习，可以透过日本人惯用语「まあまあ」的使用去理解日本人对于自然的敬畏以及以和为贵的文化心理。能够对“日本三景”及其背后的文化渊源有一定了解。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 瀟湘八景
2. 江戸時代

3. 一茶

理解：语言的运用（次重点）

判断表现的几种表达方式

(1) 委婉的判断（非断定）

1. ～であろう
2. ～のではなからうか
3. ～ではあるまいか
4. ～ように思っている
5. ～ように思われる

(2) 确信的表达

1. ～に違いない
2. ～はずである
3. ～に決まっている
4. ～はず（わけ）がない
5. ～っこない

复合动词的表现形式：～あてる

应用：重要句型（重点）

1. ともかく／ともなしに
2. ～はともかく（として）
3. ～ての
4. しかるべき
5. ないでは（も）ない
6. ならぬ
7. ～にしく（名詞）はない
8. ～とはいえ
9. ～つつ
10. ～を前に（して）

第二课 自然との出会い

一、学习目的与要求

通过本课的学习，能够学会用日语如何去描写大自然中的种种美好景象，能够通过日本人独特细腻的视角去观察大自然中的现象，从而很好地理解日本人对于自然和生命的敬畏之情。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 松のことは松に習へ、竹のことは竹に習へ（松尾芭蕉の俳句）
2. 水上勉

3. 閑寂
4. 殺風景
5. 邂逅
6. 〜が張る

理解：语言运用（次重点）

表现根据的几种表达方式

1. 〜からみて
2. 〜からして
3. 〜からいって
4. 〜からいうと
5. からすると
6. からみると
7. 〜ことから
8. 〜ところから
9. 〜ところをみると
10. 〜によれば

应用：重要句型（重点）

1. 〜といい、〜といい
2. 〜ずにはいられない
3. 名詞ひとつにしても
4. 〜て（で）ならない
5. 今でこそ
6. 何を（は）おいても
7. 〜に至る
8. 〜にして
9. まさか
10. 〜入り

第三课 水の東西

一、学习目的与要求

通过本课的学习，了解日本文化中对于水的独特观念以及如何去认识和看待发展中的各国文化。防止陷入文化论的陷阱，考虑文化及民族性的形象时，特别注意焦点的选择方法。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 鹿おどし
2. 愛嬌

3. ヒステリカル
4. 猫背
5. 先入観
6. 性癖
7. 拗れ
8. 安らぐ
9. 繊細
10. 恣意的

理解：语言运用（次重点）

表现倾向的几种表达方式

1. へぎみ
2. へっぽい
3. へがましく
4. へがち
5. めいた
6. へきらいはあるが
7. へ向きがある

应用：重要句型（重点）

1. いやがうえにも
2. ゆとりがある／ない
3. 間が抜ける
4. へとみる（みられる）
5. へにつけて（は／も）
6. へつける
7. へあげる
8. へあがる

第四课 詩四編

一、学习目的与要求

通过本课的学习，学会如何鉴赏日语的诗歌，能够从诗歌中去体会诗人的感伤的情绪，对于故乡的思念之情，以及透过照相机和人眼的视角去观察生活，感悟生活。理解现代诗歌的分类方法，掌握现代诗的常用的七种表现技巧。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 島崎藤村
2. 遊子
3. いざよふ

4. 濁り酒
5. 藉くによしなし
6. 草枕
7. 栄枯
8. この岸に愁を繋ぐ

理解：语言运用（次重点）

诗的分类方式

1. 文体の上からみた分類

①文語詩 ②口語詩

2. 内容の上からみた分類

①叙情詩 ②叙事詩 ③叙景詩 ④劇詩

3. 形式の上からみた分類

①定型詩 ②自由詩 ③散文詩

应用：重要知识点（重点）

現代詩の表現技巧

1. 対句
2. 反復法
3. 韻
4. 省略法
5. 体言止め
6. 倒置
7. 比喻

第五课 東京回顧写真展

一、学习目的与要求

通过本课的学习，了解日本散文的写作特点，学会欣赏女性作家细腻的写作风格。对日本各时代的文学历史有一定了解。掌握日语中时间的几种表达方式。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 叩き起こす
2. 興じる
3. 不義理
4. 連鎖反応
5. 三文の値打ちもない
6. 老舗
7. 何の変哲もない
8. 癩

9. きびきび
10. 顔を赤らめる

理解：语言运用（次重点）

表现时间的几种表达方式

1. へが早いか
2. へやいなや
3. へたとたん
4. へかと思うと
5. なり
6. へ次第
7. へかたわら
8. そばから

应用：重要句型（重点）

1. なにかというと
2. 何もへない
3. ためしがな
4. (何の) 変哲もない
5. へともへともつかぬ
6. へはおろかへも
7. へ始末だ
8. へてでも
9. よりに(も)よって
10. へ次第だ
11. へかける
12. へあわせる

第六课 いのち

一、学习目的与要求

通过本课的学习，了解作者如何通过自己对于猫的观察和描写，从而呼唤人类对于各种生命的尊重。学会区别和使用日语中表达自己感情以及对方和他人情绪的表现方式。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 目下
2. 厭う
3. 物陰
4. 顧みる

5. 逆襲
6. 窮鼠猫をかむ
7. 戦慄
8. 絶体絶命
9. 日常茶飯事
10. 心根
11. 目が肥える
12. 欲張り

理解： 语言运用（次重点）

表现心情的几种表达方式

(1) 気持ちを強調する表現

1. ～ものがある
2. ～かぎり
3. ～といたらない
4. ～てならない
5. ～てしかたがない
6. ～てたまらなくなった
7. ～てやまない
8. ～に耐えない

(2) 感情を強制する表現

1. ～を禁じえない
2. ～を余儀なくされた
3. ～ないではすまない
4. ～ないではいられない
5. ～ざるをえない
6. ～見るに忍びない

应用： 重点句型（重点）

1. ～としては
2. だに
3. ～ようものなら
4. ものを
5. 動詞に 同一動詞の可能形 ない
6. ～を禁じえない
7. ～とて
8. ～にしては
9. ～ところの
10. ～たる
11. ～果てる

12. ～よく
13. ～並み

第七课 文章について

一、学习目的与要求

通过本课的学习，可以从中学到如何写好一篇文章。“文章即版面设计”作为作者的文章观，他主要从凸显主题、事项之间比重的设计等方面对文章的布局进行了深入浅出的分析。学会如何使用日语提出话题，掌握基本的提出话题的方法。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 畳み掛ける
2. 翻って
3. 見え透く
4. 露呈
5. 賢者
6. 独り善がり
7. 取り留めがない
8. こと足れりとする
9. 目を逸らせる
10. 散漫
11. 鈍重
12. 妙味

理解：语言运用（次重点）

提出话题的几种表达方式

(1) 話題の取り上げ

1. ～ときたら
2. ～ったら
3. ～というと
4. ～といえは
5. ～なら
6. ～とすれば

(2) 定義や意味についての解釈

1. ～とは
2. ～って

(3) ある場合、ある状況、ある問題になったとき

1. ～となると
2. ～となれば

3. へとなったら
4. へこととなれば

应用：重点句型（重点）

1. 目白押し
2. べく
3. 高が知れている
4. 尾を引く
5. とりとめもない
6. へというものだ／へというものではない
7. とかくへ（傾向を表す表現）だ
8. つもり
9. それでいて
10. といつて
11. 再へ
12. 好へ
13. 没へ

第八课 企業内の聖人

一、学习目的与要求

通过本课的学习，透过作者笔下公司圣人形象的刻画和描写，可以深刻地了解日本社会尤其是公司文化的本质。注意学习小说和随笔中描写的常用方法。掌握日语中表示对比的几种表达方法。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 口利き
2. 抜け目のない
3. 躊躇う
4. 肝を潰す
5. 没入
6. 頭を悩ます
7. 陰口
8. 寝覚めが悪い
9. 権化
10. 足手纏い
11. 背負い込む
12. 憚る
13. 陥れる

14. 棒に振る
15. 敬して遠ざける

理解：语言运用（次重点）

对比的几种表达方式

1. へに対して
2. へくらいなら
3. へ一方
4. へ反対に
5. へとは対照的に
6. へかわりに
7. へそれにひきかえ
8. へ反面
9. へに反して
10. へわりには

应用：重点句型（重点）

1. なんという
2. へのかたまり
3. それはそれでいい
4. となると
5. いくらなんでも
6. へないまでも
7. なにしる
8. へしようにもへない
9. へとばかり
10. ごとき／ごとく
11. へきわまる
12. へはずれ
13. へまわる

第九课 香住から白兔海岸へ

一、学习目的与要求

通过本课的学习，能够体会作者在旅行中的所感所悟，了解并掌握现代日本纪行文学的写法和特点。学会如何正确使用日语中劝诱的表达方式。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 鈍感
2. 茫洋

3. 心安い
4. 気心
5. 無粹
6. 探勝
7. 罰があたる
8. 急転直下
9. 触れ込み
10. 身を切る
11. 春風駘蕩
12. 振り仰ぐ
13. 顔面蒼白
14. 覚束ない
15. 目に染みる

理解： 语言运用（次重点）

表现劝诱的几种表达方式

(1) することを勧める

1. 〜ませんか
2. 〜よう
3. 〜てもらえない
4. 〜ほうがいいよ
5. 〜ば（使ったら／使うと）いい
6. 〜ことだ
7. 〜にかぎる

(2) しないことを勧める

1. 〜までもない
2. 〜ことはない
3. 〜なくていい

应用： 重点句型（重点）

1. 何が何でも
2. 動詞 には 同一動詞 が
3. 〜ないことには
4. 高をくくる
5. 〜というところだ
6. 〜にかぎる
7. 〜にもまして
8. 〜ことだ／ことか
9. 〜てもはじまらない
10. さして〜ない

11. 〜がきく
12. 〜目
13. 〜由

第十课 仮面の思想

一、学习目的与要求

通过本课的学习，了解面具背后深刻的文化意义。学会通过某种文化现象去分析其文化意义和如何解读人类的共通的文化背景。学会日语中表现结果的几种表达方式。了解日语中的故事成语、谚语、惯用语以及它们的区别。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 仮面
2. 扮装
3. 古今東西
4. 奇想天外
5. 逸脱
6. 面相
7. 縁日
8. 彼岸
9. 零落
10. 次元
11. 誘う
12. 陳腐
13. 風変わり
14. 見据える
15. 疎外

理解：语言运用（次重点）

表示结果的几种表达方式

1. そうしたら〜なるだろう
2. そうすると〜なる
3. このようにして（かくして）〜ことになる
4. 〜したあげく
5. 〜考えた末
6. 結果として〜羽目になる
7. 〜結局
8. 〜反面
9. 〜始末だよ

10. ～おちだ

应用：重点句型（重点）

1. ～だけのことだ
2. ～を問わず
3. 存在
4. そもそも～というものは
5. どちらかといえば
6. 手をかえ品をかえて
7. (形容詞) く (も／は) ある
8. こそあれ (すれ)
9. ～とでもいうべき
10. とすれば
11. ～離れ
12. ～がつく

第十一課 らくだのシアンツ

一、学习目的与要求

可以参照我国著名文学家老舍先生的原著《骆驼祥子》，对立间祥介翻译的日文作品《らくだのシアンツ》进行比较学习。注意理解日本作家如何对我国经典作品进行解读以及遣词用句上的特点。了解生活中与身体有关的常用的惯用表达。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 無一物
2. 裸一貫
3. 一卷の終わり
4. 濡れてで粟
5. 敗残
6. 凌ぐ
7. めったやたら
8. 無性に
9. 我に返る
10. 狡賢い
11. 掻き消える
12. 慙愧
13. 腹を決める
14. 茜色
15. 矢も楯もたまらない

理解：语言运用（次重点）

(1) 表现无视/无关系的几种表达方式

1. へを問わず
2. へによらず
3. へようとへようと
4. へはともかくとして
5. へ何はともあれ
6. へ何はさておき
7. へもかまわず
8. へおかまいなしに
9. へをよそに
10. へをものともしない

(2) 自動詞表現にある可能と受身の意味

应用：重点句型（重点）

1. へようがへようが
2. へたら（ば）へたで
3. それまで（のこと）だ
4. 形容詞連用形する
5. へようにして
6. （だ）ところで
7. これという（いって）へない
8. へとはいわず
9. 瀬戸際
10. へを食う
11. へをかぎりに

第十二课 河童の血筋

一、学习目的与要求

通过本课的学习，重新认识日本文化与不同国度文化之间的差异。只有承认作为人的共通性，才能理解外国文化的特殊性。学会区别日语中表示强调的不同表达形式。了解日本古代的几种假名使用情况。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（一般）

1. 河童
2. 血筋
3. 熱狂的
4. 渴望

5. 怪訝
6. 日向
7. 皺ばむ
8. 熱を上げる
9. 震え上がる
10. 愚劣
11. 無闇
12. どんより

理解：语言运用（次重点）

表现强调的几种表达方式

1. へさえ
2. へまで
3. へこそ
4. へでも
5. へだに
6. へそのもの
7. へてはじめて
8. へたりとも
9. へでなくてなんだろう
10. へだけに

应用：重点句型（重点）

1. へには／と変わりはない
2. へないと、へない
3. 動詞でもなく
4. へに等い
5. ご多分にもれず
6. へに熱を上げる
7. やみくも
8. すなお
9. 底抜け
10. ありうる／ありえる／ありえない
11. へ返る
12. へばむ

第三部分 有关说明与实施要求

一、考核的能力层次表述

本大纲在考核目标中，按照“识记”、“理解”、“应用”三个能力层次规

定其应达到的能力层次要求。各能力层次为递进等级关系，后者必须建立在前者的基础上，其含义是：

识记：能知道有关的名词、概念、知识的含义，并能正确认识和表述，是低层次的要求。

理解：在识记的基础上，能全面把握基本概念、基本原理、基本方法，能掌握有关概念、原理、方法的区别与联系，是较高层次的要求。

应用：在理解的基础上，能运用基本概念、基本原理、基本方法联系学过的多个知识点分析和解决有关的理论问题和实际问题，是最高层次的要求。

二、教材

1. 指定教材：

日语综合教程（6），谭晶华、陈小芬，上海外语教育出版社，2011年版

2. 参考教材：

日本語表現文型 500，友松悦子，アルク出版，1998年版

新编日语语法教程，皮细庚，上海外语教育出版社，1989年版

三、自学方法指导

1. 在开始阅读指定教材某一课之前，先翻阅大纲中有关这一章的考核知识点及对知识点的能力层次要求和考核目标，以便在阅读教材时做到心中有数，有的放矢。
2. 阅读教材时，要逐段细读，逐句推敲，集中精力，吃透每一个知识点和句型，对基本概念必须深刻理解，对基本句型必须彻底弄清，能够灵活运用，对基本方法必须牢固掌握。
3. 在自学过程中，既要思考问题，也要做好阅读笔记，把教材中的基本句型、类似的表达方式、基本知识点等加以整理，这可从中加深对文章的理解和记忆，以利于突出重点，并涵盖整个内容，可以不断提高自学能力。
4. 完成书后作业和适当的辅导练习是理解、消化和巩固所学知识，培养分析问题、解决问题及提高能力的重要环节，在做练习之前，应认真阅读教材，按考核目标所要求的不同层次，掌握教材内容，在练习过程中对所学知识进行合理的回顾与发挥，注重理论联系实际和具体问题具体分析，解题时应注意培养逻辑性，针对问题围绕相关知识点进行层次（步骤）分明的论述，明确各层次（步骤）间的逻辑关系。能够阅读和理解逻辑性较强的日语文章，能够准确地翻译日语中较复杂的句型。

四、对社会助学的要求

1. 应熟知考试大纲对课程提出的总要求和各章的知识点。
2. 应掌握各知识点要求达到的能力层次，并深刻理解对各知识点的考核目标。
3. 辅导时，应以考试大纲为依据，指定的教材为基础，不要随意增删内容，以免与大纲脱节。
4. 辅导时，应对学习方法进行指导，宜提倡“认真阅读教材，刻苦钻研教材，主动争取帮助，依靠自己学通”的方法。

5. 辅导时，要注意突出重点，对考生提出的问题，不要有问即答，要积极启发引导。
6. 注意对考生能力的培养，特别是自学能力的培养，要引导考生逐步学会独立学习，在自学过程中善于提出问题，分析问题，做出判断，解决问题。
7. 要使考生了解试题的难易与能力层次高低两者不完全是一回事，在各个能力层次中会存在着不同难度的试题。
8. 助学学时：本课程共 8 学分，建议总课时 144 学时，其中助学课时分配如下：

章 次	内 容	学 时
第一课	「まあまあ」にみる日本人の心	14
第二课	自然との出会い	12
第三课	水の東西	12
第四课	詩四編	6
第五课	東京回顧写真展	14
第六课	いのち	14
第七课	文章について	12
第八课	企業内の聖人	12
第九课	香住から白兔海岸へ	12
第十课	仮面の思想	12
第十一课	らくだのシアンツ	12
第十二课	河童の血筋	12
合 计		144

五、关于命题考试的若干规定

1. 本大纲各章所提到的内容和考核目标都是考试内容。试题覆盖到章，适当突出重点。
2. 试卷中不同能力层次的试题比例大致是：“识记”为 20%、“理解”为 40%、“应用”为 40%。
3. 试题难易程度应合理：易、较易、较难、难的比例为 2：3：3：2。
4. 每份试卷中，各类考核点所占比例约为：重点占 60%，次重点占 30%，一般占 10%。
5. 试题类型一般分为：单项选择题、选词填空题、阅读理解题、中文翻译日文题、日文翻译中文题。
6. 考试采用闭卷笔试，考试时间 150 分钟，采用百分制评分，60 分合格。

六、题型示例（样题）

一、选择题（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

在每小题列出的四个备选项中只有一个是符合题目要求的，请将其选出并将“答题卡”上的相应字母涂黑。错涂、多涂或未涂均无分。

- 地震による津波が、伊豆半島沿岸を襲う恐れがある。
A. ねらう B. うばう C. おそう D. かばう
- じゅようが供給を上回るとインフレになる。
A. 受容 B. 需要 C. 需用 D. 儒要
- 授業が終わった_____大雨が降りだした。傘を持っていなかったのだから雨はやむまで待った。
A. ところを B. ところが C. ところに D. ところで

二、次の語群から最も適切な言葉を選んで_____に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にすること。（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

ア どうてい イ 誘う ウ 肥大する エ 妙に

- 今までの経験からして_____彼を信用することはできない。

三、次の文章を読んで、後ろの問いに答えなさい。（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

自分の意見をまとめ上げるには、その過程で、いろいろ他人の意見をきく必要のあることはいうまでもない。今朝のラジオであの人が言っていたあの意見、昨夜読んだ雑誌にこの人が書いていたこの考え方、それを聞きこれを読むことは、いずれも大切である。自主的にものを考えるということは、決して他人の意見をよせつけないということではない。そうではなく、他人の意見を積極的に聞くことはむしろ大切なのだ。ひろく他人の意見を聞いて参考にするには、大切も大切、それがなくては本当の意味での自主的な意見を持つことはできないといってもよいほど大切なのだ。大事な点は、それをあくまでも参考にとどめ、うのみにしないことである。ああいう考え方もある、こういう考え方もある、いろいろそれを知っておいて、さて、そのうえで自分で考えるのである。自分で考えてみて、よく分からない点があれば、そこでまた人に聞くのが良い。聞いたらその考え方を、あらためてもう一度自分の頭で考えてみるのだ。考え直して見て、納得が行くかどうか。

- 下線「決して他人の意見をよせつけないということではない。」に最も近い内容の文を次から一つ選びなさい。
A. 全く他人の意見を寄せつけない。
B. 他人の意見を寄せつけることもある。
C. すべて他人の意見を寄せつける。
D. 他人の意見を寄せつけないこともある。

四、括弧の中の言葉を使って次の中国語を日本語に訳しなさい。（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

- 内容姑且不谈，新单词太多的话，要经常查字典，这样读起来没劲。（...はともかく）

五、次の日本語を中国語に訳しなさい。（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

- たくさんの子供たちの世話をして暮らしていたためか、気さくで、明るく、誰でも好きにならずにいられないタイプの人だった。